

九州半導体人材育成等コンソーシアム

2025年度 人材育成WG活動 中間報告

- 1) 2025年度 全体進捗報告
- 2) 2025年度 個別報告

2025年10月17日（金）
九州半導体人材育成等コンソーシアム
人材育成ワーキンググループ事務局

人材育成WG活動

全体進捗報告

人材育成WGについて

目的

- 半導体人材の育成・確保、多様な人材活躍に向けた環境整備、半導体産業の魅力発信等の産学官金による横断的な取組を推進し、九州における半導体人材の需給ギャップの縮減及び解消を通じた我が国の半導体産業の基盤強化

ゴール

- 産学官金による横断的な取組を推進する各ステークホルダーが内発的な動機付けにより人的資源や予算を含め主体性・能動性・潜在力を発揮し、九州における半導体人材の需給ギャップの縮減及び解消に取り組む普遍性・自走化を確立

活動方針

- 産学官金による横断的な取組を推進する各ステークホルダーとの対話と傾聴を通じて、九州における半導体人材を取り巻く環境・課題意識の本質的な課題への気づきを促すとともに、各種調査結果と周辺環境を基にPDCAを高速回転させ年度計画に柔軟に反映させる

人材育成WG 2025年度活動概要

1. 実態把握・情報収集調査

- ① 「人材需給ギャップ フォローアップ調査」による最新の半導体人材の不足・採用状況等の把握
- ② 「構成機関における取組状況調査」による人材育成・確保の取組状況の把握及び対外発信

2. 半導体産業の魅力発信

- ① 「教員向け研修会」の実施による教員の半導体産業に対する理解度・関心度向上の促進
- ② 「産学ミートアップ事業」の実施による学生の半導体産業に対する実感値を伴った理解の促進
- ③ 半導体産業魅力発信コンテンツのアップデート（冊子の発行は2026年度以降に実施予定）

3. 半導体人材育成・確保

- ① 「出前授業」（横断的教育カリキュラム）の実施による半導体産業を横断的に捉える人材の育成促進
- ② 産学連携による教育・研究環境の整備促進（装置類寄付・講義開放）

4. 横断的・ダイバーシティ推進

- ① 「海外人材サブWG」の設置による九州半導体産業における海外人材活用に向けた課題感等の把握
- ② 「自治体サブWG」の設置による自治体間の情報共有及び連携促進、人材育成WGとの連携検討

2025年度 コンソーシアム 人材育成WG構成機関

人材育成WG：座長 安浦 寛人（人材WG構成メンバー／産学官124機関）

（2025年9月時点）

	属性	団体名
1	産業機関	株式会社BREXA Next
2		旭化成エレクトロニクス株式会社
3		旭化成マイクロテクノロジー株式会社
4		株式会社アスカインデックス
5		アドバンスソフト株式会社
6		株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン
7		株式会社アルプス物流
8		株式会社ウイルテック
9		エア・ウォーター株式会社
10		株式会社エイジェック
11		SMC株式会社
12		エスアイユー株式会社
13		九州電子株式会社
14		計測エンジニアリングシステム株式会社
15		興研株式会社
16		サクセスインターナショナル株式会社
17		株式会社SUMCO
18		櫻井精技株式会社
19		株式会社三松
20		株式会社ジーダット
21		JSR株式会社
22		Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
23		株式会社ジャパンセミコンダクター
24		株式会社スタッフサービス
25		ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
26		株式会社タケシタ
27		田中電子工業株式会社
28		株式会社テラプローブ
29		株式会社デンソー
30		東京エレクトロン九州株式会社
31		東芝情報システム株式会社
32		東洋ワーク株式会社
33		株式会社西村ケミテック
34		日研トータルソーシング株式会社
35		日総工産株式会社
36		日本アイ・ビー・エム株式会社
37		日本シノプシス合同会社
38		株式会社日出ハイテック
39		平井精密工業株式会社
40		株式会社平山GL
41		フェニテックセミコンダクター株式会社
42		フジアルテ株式会社
43		マイクロカット株式会社
44		株式会社マイスティア
45		株式会社マイナビ
46		株式会社安川電機
47		UTエイム株式会社
48		横河ソリューションサービス株式会社
49		吉川工業株式会社
50		吉川工業アールエフセミコン株式会社
51		ラムリサーチ合同会社
52		リクルーティング・パートナーズ株式会社
53		株式会社ワールドインテック

54	教育機関	岩崎学園
55		大分工業高等専門学校
56		大分大学
57		開新高等学校
58		鹿児島大学
59		北九州工業高等専門学校
60		九州工業大学
61		九州産業大学
62		九州職業能力開発大学校
63		九州大学
64		近畿大学
65		熊本県立技術短期大学校
66		水保高等学校
67		熊本工業高等学校
68		開新学園 熊本工業専門学校
69		熊本高等専門学校
70		熊本大学
71		久留米工業大学
72		国立高等専門学校機構
73		佐賀大学
74		佐世保工業高等専門学校
75		崇城大学
76		第一工科大学
77		東海大学
78		長崎工業高等学校
79		長崎大学
80		西日本工業大学
81		福岡工業大学
82		福岡大学
83		都城工業高等専門学校
84		宮崎大学
85		柳川高等学校
86		八女工業高等学校
87		立命館アジア太平洋大学
88		早稲田大学

89	行政機関	福岡県
90		佐賀県
91		長崎県
92		熊本県
93		大分県
94		宮崎県
95		鹿児島県
96		福岡市
97		北九州市
98		熊本市
99		国土交通省九州地方整備局
100		文部科学省
101	金融機関	株式会社熊本銀行
102		株式会社佐賀銀行
103		株式会社十八親和銀行
104		株式会社肥後銀行
105		株式会社三菱UFJ銀行
106		株式会社日本政策投資銀行
107	協力機関	大分県LSIクラスター形成推進会議
108		かごしまモノづくり推進協議会
109		株式会社価値総合研究所
110		公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）
111		一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
112		公益財団法人九州経済調査協会
113		一般社団法人九州経済連合会
114		公益財団法人九州先端科学技術研究所
115		公益財団法人佐賀県産業振興機構
116		国立研究開発法人産業技術総合研究所
117		SEMIジャパン
118		一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
119		独立行政法人日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター
120		公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）
121		東北経済産業局
122		関東経済産業局
123		中国経済産業局
124		内閣府沖縄総合事務局

海外人材サブWGについて

目的

- ・ 海外との産業交流促進をはじめとするダイバーシティ推進に向けた環境整備を行い、九州半導体産業における海外人材の活用と育成を推進することで、九州における半導体人材の需給ギャップの縮減及び解消に寄与

ゴール

- ・ 海外人材シーズと九州における半導体産業ニーズの良質なマッチングを形式知的に実現する面的展開可能な産業交流フレームワーク（アセスメントによる能力・知見・経験等の可視化／工程・職種・職域等のマインドセット、課題設定型伴走支援手法や優良支援事例）を確立

活動方針

- ・ (九州地域との連携を期待する)諸外国間における人材シーズ・ニーズのマッチング要素・プロセスの差異を考察・可視化させる
- ・ (九州地域との連携を期待する)諸外国関係機関への九州における半導体産業で活躍を期待する海外人材像の提言に繋げる
- ・ 各種調査結果と周辺環境を基にPDCAを高速回転させ年度計画に柔軟に反映させる

自治体サブWG（人材育成領域）について

目的

- コンソーシアムに参画する自治体同士の情報共有を円滑に行い、九州における「半導体人材育成・確保」、「海外との交流促進」の取組の更なる進展・拡大に寄与

ゴール

- 自治体連携を起因とする内発的な動機付けにより人的資源や予算を含め主体性・能動性・潜在力を発揮し「半導体人材育成・確保」、「海外との交流促進」を通じた九州における半導体人材の需給ギャップの縮減及び解消に取り組む普遍性・自走化を確立

活動方針

- 行政区域に囚われずに生活圏をベースとした地域づくりや人の往来を更に加速させる「ONE KYUSHU」コンセプトの下、「生産」、「プロジェクト」、「サプライチェーン」、「販売」、「戦略」、「問題解決」等の全体最適のマネジメント力を醸成する
- 各自治体が抱える「半導体人材育成・確保の課題感」や「解決策」、「自治体横断的に取り組める事業」をテーマに対話と傾聴を通じて、九州における半導体人材を取り巻く環境・課題意識の本質的な課題への気づきを促すとともに、各種調査結果と周辺環境を基にPDCAを高速回転させ年度計画に柔軟に反映させる

人材育成WG活動

個別報告

1.-①実態把握・情報収集調査 【半導体人材需給ギャップ フォローアップ調査】

実施背景・目的

- 九州半導体人材育成等コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）が設立された2022年度、人材育成WGでは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）調査委託事業において、九州地域の半導体関連企業に対し、半導体人材の人材不足や採用状況についての現状調査を実施した。
- 同調査による主な結果として、九州地域において、**オペレーターや生産技術職を中心に、短期・中長期的に年間1,000人程度の人材が不足する見込み**という現状が明らかになった。
- 同調査以降、**TSMCの熊本進出等、九州地域の半導体関連の投資は活発化し、半導体産業を取り巻く環境は大きく変化**している。
- 産学官金連携による**コンソーシアム活動の広がり**が見られる中、足下の採用状況や人材充足感等の**ポジティブな転換**について考察が必要。
- このため、最新の半導体人材の人材不足や採用状況について改めて調査し、**半導体人材需給ギャップの定点観測**を行う。

アウトプット

- ① 足下の人材の採用規模、不足規模
- ② 短期・長期視点での人材の採用規模、不足規模
- ③ 職種別の人材不足感
- ④ 学生等に対する有効なPR活動の状況
- ⑤ 産学連携（出前講義、インターンシップ等）の状況



- ✓ 九州半導体人材育成等コンソーシアム設立後（**3年間**）における**各アウトプットの変化**や、**新たな取組等の状況**を把握するとともに、
- ✓ **より有効な人材育成・確保の施策・手法**を明らかにする。

半導体人材需給ギャップ フォローアップ調査【中間報告】1 / 3 ※9/10時点

中間報告(2025年9月10日時点)

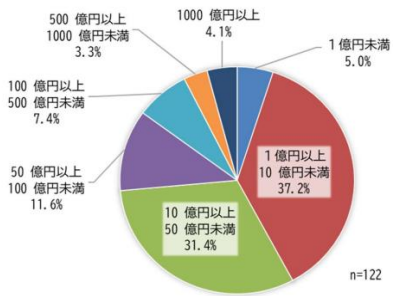
1. 人材の育成・確保に関する調査（国内企業向けアンケート調査）

(1) アンケート調査の概要

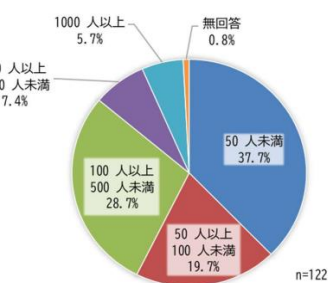
- ・期間：2025年8月7日（木）～2025年9月19日（金）
- ・発送数：917通＋α
- ・有効回答数：122通
- ・有効回答率：13.3%

(2) アンケート回答結果(抜粋)

①年間売上高



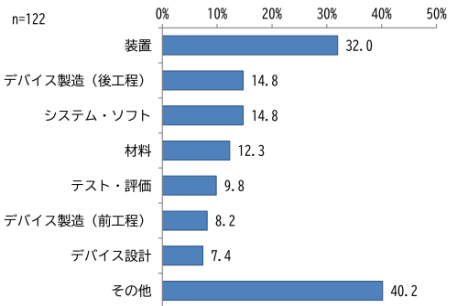
②従業員規模（正社員）



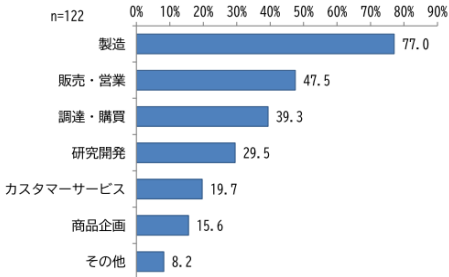
1

(2) アンケート回答結果(抜粋)

③事業所の業種（複数回答）



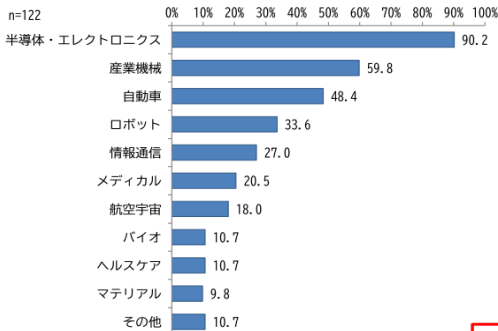
④事業所が有する機能（複数回答）



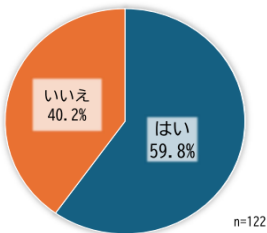
2

(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑤事業領域（複数回答）



⑥現在、人材が不足しているか

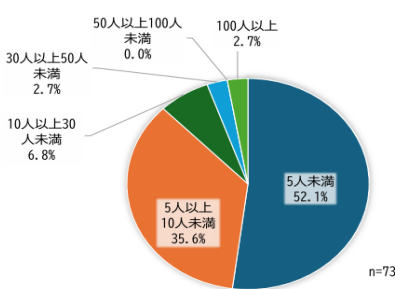


約6割が人材が不足していると感じている

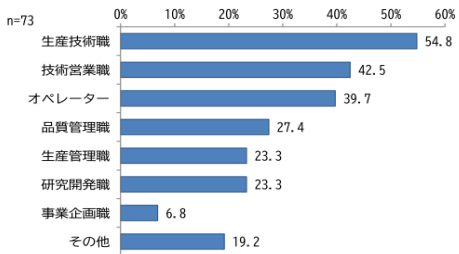
3

(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑦不足人数の規模



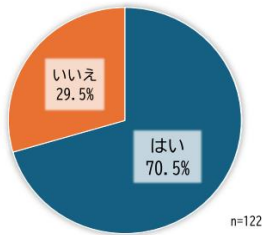
⑧不足している職種（複数回答）



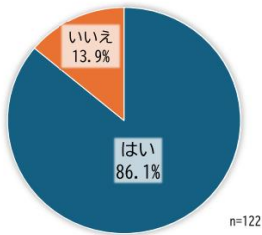
4

(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑨ 新卒の定期採用を実施しているか

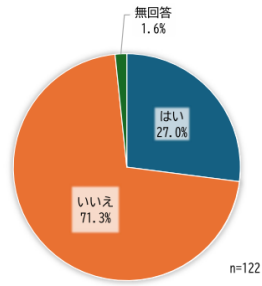


⑩ 中途採用を実施しているか

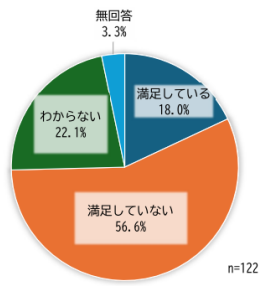


(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑪ 外国人採用を実施しているか



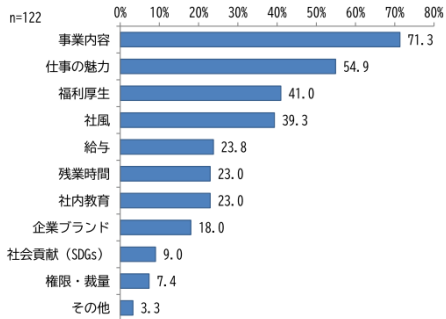
⑫ 採用活動の結果に満足しているか



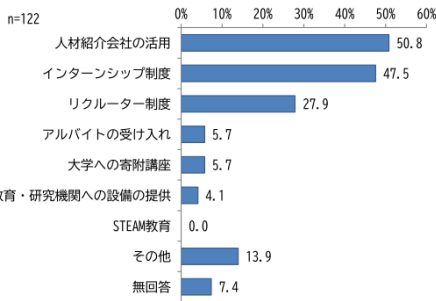
約 6 割が採用活動の結果に不満足

(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑬ 強くアピールしているポイント (複数回答)

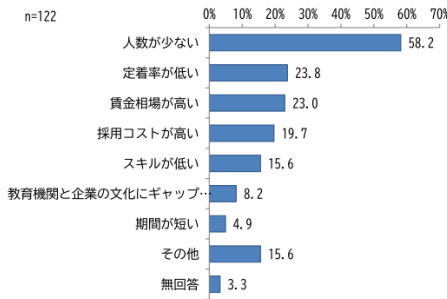


⑭ 重視する採用PR活動 (複数回答)

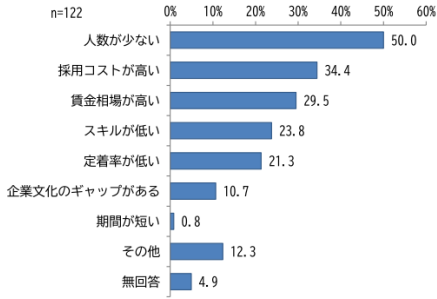


(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑮ 新卒採用の課題 (複数回答)

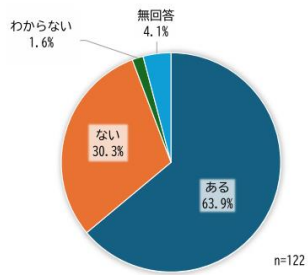


⑯ 中途採用の課題 (複数回答)

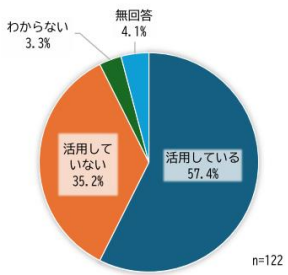


(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑬社内研修プログラムがあるか

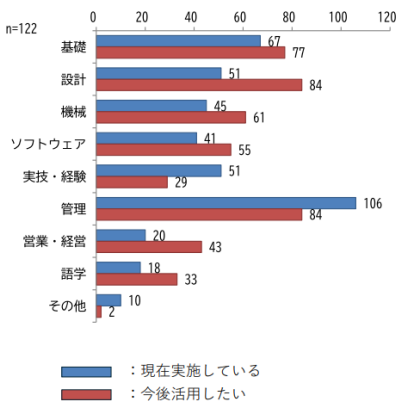


⑭人材教育で外部プログラムを活用しているか

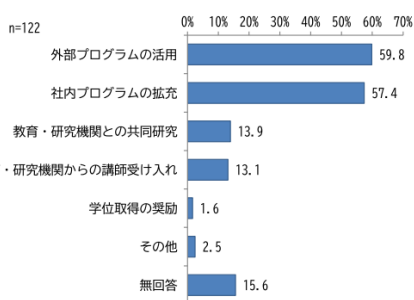


(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑮社内研修プログラム (複数回答)

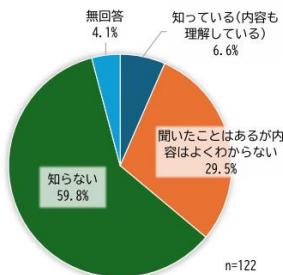


⑯今後活用したい研修の方向性 (複数回答)

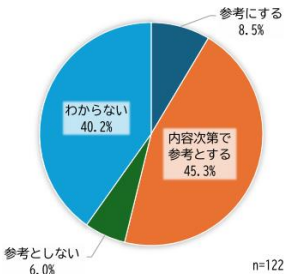


(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑰デジタルバッジを知っているか

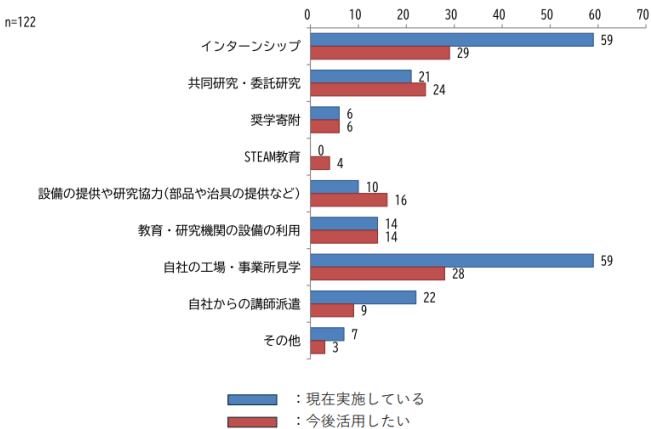


⑱採用選考時の参考とするか



(2) アンケート回答結果(抜粋)

⑲産学連携について (複数回答)



2.-①半導体産業の魅力発信【教員向け研修会】

事業の目的

- 半導体関連企業を訪問し、学生の進路選択の一つである半導体産業の現状把握・実際に働く現場の見学を行うことで**教員の皆様に半導体についての理解を深めていただき**、生徒・学生の進路選択時に半導体産業を一つの**選択肢として先生方から提案いただけるよう**、半導体産業の魅力発信を行う。
- 企業（人事担当や参加者所属校の卒業生）との座談会により、**学校での教育と半導体に関する業務の関連性等**について教員の皆様に理解を深めていただく。

実施スケジュールと結果

No	実施企業	実施場所	主な事業内容	実施日	実施結果
1	三菱電機（株）	パワーデバイス製作所 （福岡市西区今宿東1-1-1）	半導体の設計/開発/製造 （主にパワー半導体）	7月25日	7名参加
2	（株）SUMCO	九州事業所（伊万里・久原） （佐賀県伊万里市山代町久原1-52）	半導体用シリコンウエハの 製造/販売	8月4日	参加者4名の ため中止
3	日清紡 マイクロデバイスAT（株）	（佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野950）	電子デバイス（半導体） 製品の製造	8月28日	6名参加
4	ラピスセミコンダクタ（株）	宮崎第二工場 （宮崎県東諸県郡国富町田尻1815）	ウエハ製造 （半導体ウエハファウンドリ）	2026年 1月15日	（募集未）
5	フェニテック セミコンダクター（株）	鹿児島工場 （鹿児島県始良郡湧水町北方1770-1）	ウエハ製造 （半導体ウエハファウンドリ）	2026年 1月後半予定	（募集未）



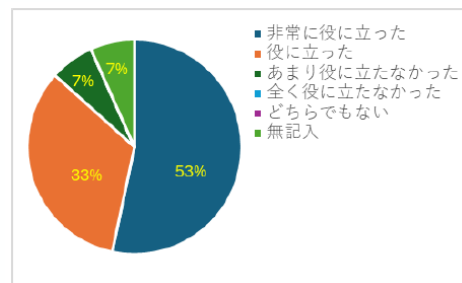
(参考) アンケート結果

日時：2025年7月25日 13:30～15:30
場所：三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
(福岡県福岡市西区今宿東1丁目1番1号)
参加者：7名 (アンケート回収率:100%)

日時：2025年8月28日 13:30～15:30
場所：日清紡マイクロデバイス AT 株式会社
(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野 950)
参加者：8名 (アンケート回収率:100%)

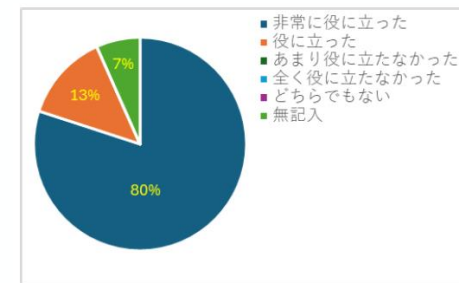
本研修会全体の構成についてお答え下さい。

非常に役に立った	8
役に立った	5
あまり役に立たなかった	1
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	15



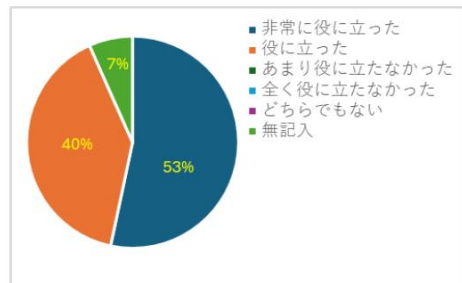
本研修会の座談会についてお答え下さい。

非常に役に立った	12
役に立った	2
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	15



本研修会の会社説明についてお答え下さい。

非常に役に立った	8
役に立った	6
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	15

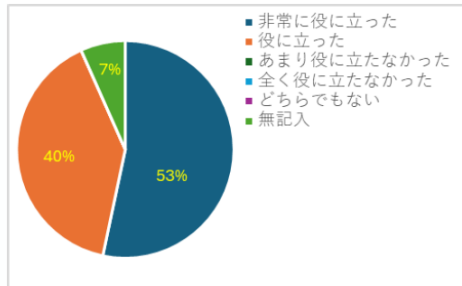


Q13 本研修会に対するご感想、ご要望などあればお聞かせ下さい。(自由記載)

半導体人材育成や近年の半導体の様子等わかり、時間もコンパクトで良かったです
今後も SIIQ 会員企業への訪問・見学の機会を作っていただけると有難く思います
今後も見学会や座談会を続けて欲しい
座談会はとても役に立った
イベントのタイトルを「教職向け」にすればキャリア支援の先生方も参加しやすくなる
技術的な内容について説明が欲しかった
案内から参加回答期限までタイトであったため、早めの案内をいただきたい

本研修会の見学会についてお答え下さい。

非常に役に立った	8
役に立った	6
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0
どちらでもない	0
無記入	1
合計	15



Q14 人材育成 WG 事務局へのご意見・ご要望などあればお聞かせ下さい。(自由記載)

今後も様々な企業、学校の方々とつながる機会を設定していただきたい
今回、得た内容を学校現場に持ち帰り還流したいと思います
ジェネレーションギャップを含め、社内教育で苦心されている点(ひいては大学での教育課題の発見)について、意見交換できる機会を設定頂けると有難い

2.-②半導体産業の魅力発信【産学ミートアップ事業】

事業の目的

普段、交流機会の少ない進路選択前、就職先検討前の学生・教員、半導体関連企業が一堂に会し、「半導体が切り拓く未来」をテーマに、ワークショップや工場見学等の交流を通じて、

- ・教育機関に、九州に立地する半導体関連企業を知ってもらうこと、半導体業界で働く魅力を発信すること
- ・企業に、教育機関と繋がるきっかけを作り出すこと、イノベーションの創出に繋げること

事業の概要

2024年度は、南部九州（鹿児島県）、北部九州（福岡県）で実施。

2025年度は、東部九州（大分県：8月21日ジャパンセミコンダクター大分事業所）、
西部九州（長崎県：2026年2月18日 SUMCO TECHXIV）で実施（予定）。

プログラム（東部九州・西部九州開催共通）

座学

社会を支える半導体について学ぼう

講師：（一社）九州半導体・デジタルイノベーション協議会

半導体業界を支える企業のことを知ろう

講師：参加企業（1社10分程度）

ファクトリーツアー

製造現場をみてみよう

開催企業の工場内を見学。
半導体製品がどのように製造されているのか現場で体感する。

ランチミーティング

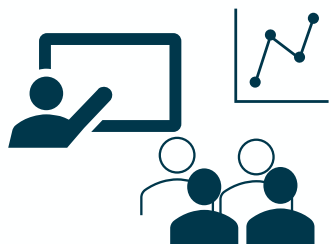
半導体業界で働く方々と
会話してみよう

半導体関連企業で働く
方々と一緒にランチを食べながら、ざっくばらんな交流を実施。

ワークショップ

私からの未来を考えよう

未来の製品・サービスで、どんな未来をつくりたいか、自分はどんな貢献をしたいか、工作や会話を通じて仕事について考えるワークを実施。



開催概要

【東部九州】

- ・日時：2025年8月21日（木）
- ・場所：株式会社ジャパンセミコンダクター大分事業所（大分市）

【西部九州】

- ・日時：2026年2月18日（水）
- ・場所：SUMCO TECHXIV株式会社（大村市）

開催報告【東部開催】

開催結果

- 会場：株式会社ジャパンセミコンダクター大分事業所（大分市）
- 日時：2025年8月21日（木）9:00～16:50
- 参加者数：49名
教育機関：9校 学生21名※留学生5名含む、教員7名
（開新高校、情報科学高校、津久見高校、中津東高校、大分高専、大分大学、九州産業大学、日本文理大学、立命館アジア太平洋大学）
企業：7社 21名
（旭化成マイクロテクノロジー、平井精密工業、デンケン、オジックテクノロジーズ、スズキ、エスティケイテクノロジー、ジャパンセミコンダクター）



参加者からの声（抜粋）

教育機関

- ・製造現場を見たり、関わっている方々とお話するのは初めてで、具体的なイメージを持つことができて良かった。（学生）
- ・半導体業界の仕事が面白そうで、半導体業界に就職したいと思った。（学生）
- ・学校で学生だけのワークショップには参加したことはあるが、そこでは経験できない企業目線の考え方、社会人のアイデアの出し方を学ぶことができた。（学生）
- ・ワークショップ自体が楽しかった。就職につながるような学生と企業の交流機会がもっとあればありがたい。（教員）

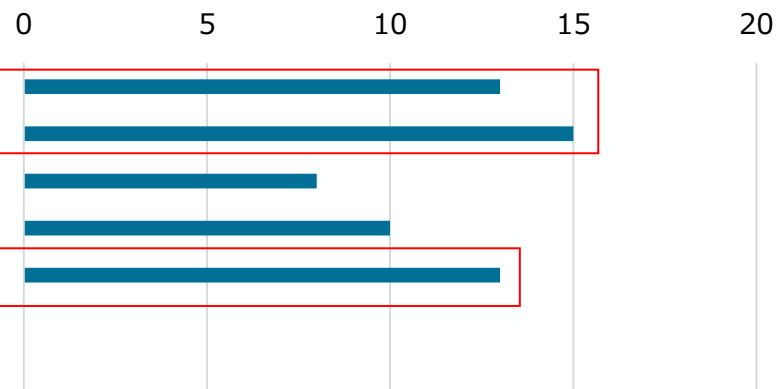
企業

- ・普段、交流が少ない学生・教員とのワークを通じ、新たな発見が得られ、刺激になった。
- ・学生のレベルが高いと感じた。今後、高校・大学へのPR強化を図りたい。
- ・今回の参加で得た学生の就活時の視点を踏まえ、今後、教育機関との連携をとっていきたい。

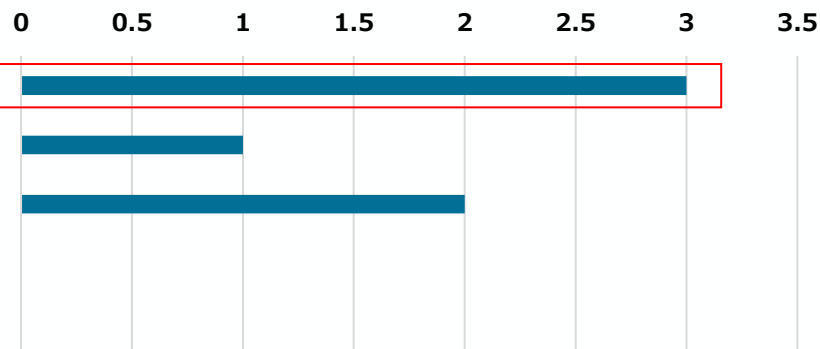
(参考) アンケート結果1/3

Q.参加した感想（複数回答可）

【学生】



【教員】



自由記述

クリーンルームの作業以外にも、半導体に関わる事業は多くあり、選択の幅は広いと感じられたから。企業の方々と話すことで半導体業界について、少しでも見聞を深められたと思うから。

社会人のアイデアの出し方を学べた。様々な企業が集まっており、多方向からの視点を学ぶことができた。

自分の意見を企業目線からどのように考えているのかを知ることができました。また、留学生とも話す機会になりました。

普段の学校の授業では得られない体験でした。応募前見学の際に見えなかった職場も見学できた。

自分も半導体業界で働くことになるので今日このような機会に参加できてよかった。

半導体の持つ可能性にとっても興味をもつことができたから。

半導体の存在は知っていたが、どのようなことをしているか、どんな企業があるかなどを新たに知れてよかった。

半導体に関する論文を読んだりはしていたが、その製造現場を見たり、関わっている方々とお話しするのは初めてだった。具体的なイメージを持つことができ、とても良かった。

自由記述

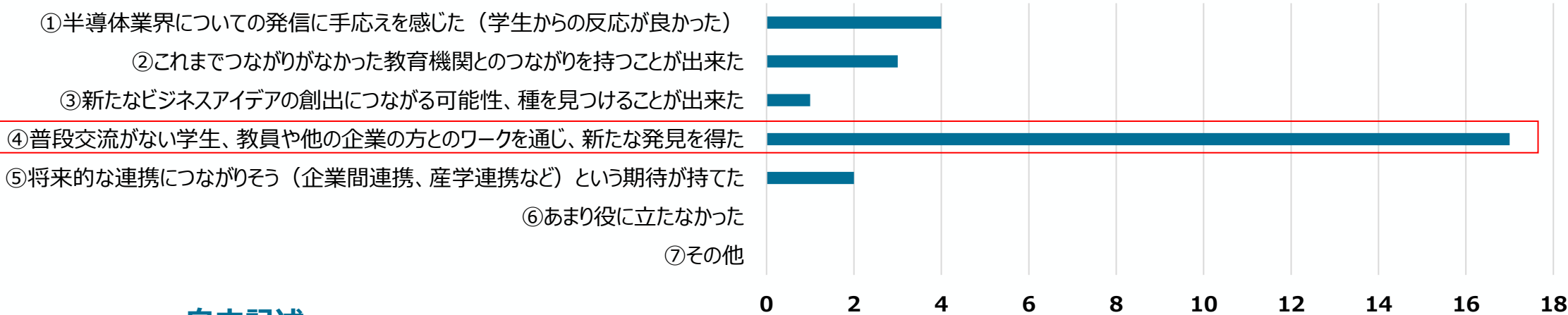
半導体関連の様々なメーカーの方と関わりを持てた。学生さんの柔軟性とメーカーさんの問題解決力に刺激を受けた。

学びと企業の交流の時間がもっとあれば、よりよかったと思います。(イベント自体はすばらしく有意義でした。ありがとうございます。)

(参考) アンケート結果2/3

Q.参加した感想（複数回答可）

【企業】

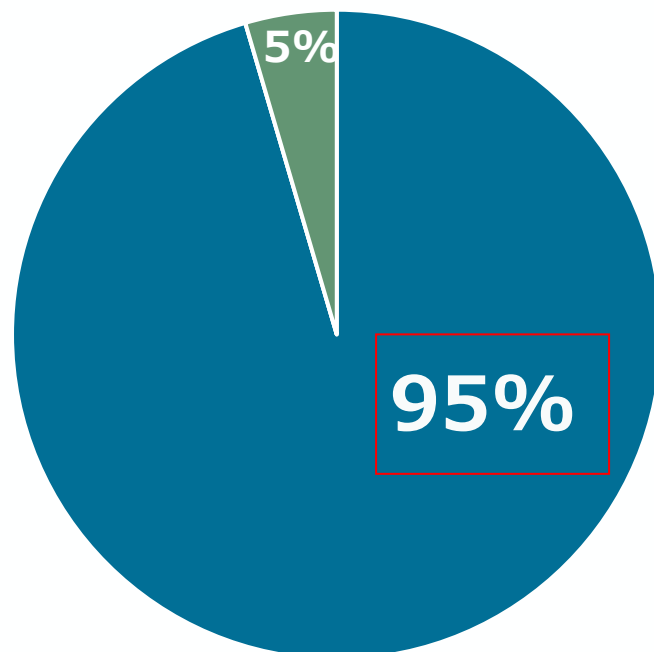


自由記述

各社が半導体とは何かを学生等に伝えるプレゼンがとても参考になりました。
大学・高校の先生とつながることができた。
普段関わることのない学生さん先生と話すことで、新たな視点を得られた。
学生の方が興味を持っていた。
半導体業界の方や学生さんなど、普段あまり関わらない方々から、柔軟で新しい考え方発想を学べた。
固定観念のない思考を聞けてよかった。
自分自身も新入社員だったので、学生と共に学ぶことができました。

(参考) アンケート結果3/3

Q. 半導体産業に対する印象の変化（学生・教員）



- ① 半導体産業への印象が良くなった
- ② 半導体産業への印象が悪くなった【回答：0】
- ③ 半導体産業への印象は変わらなかった

①の理由

JSCさんの工場見学、企業の方、教授の方などのワークショップが良かった。

研究だけではなく、製造の具体的なイメージを持つことができた。

半導体は現代の産業、生活には欠かせないものだと分かった。

仕事面白そうだったから。

ものすごく緻密な作業であることが分かり、これを量産しているすごさを知った。

技術や人に対する配慮が進歩していることが分かった。

外国の方など多くいて、九州全体で半導体を盛り上げようという取組が良いなと思ったから。

学生を積極的に集める活動を知ることができた。

③の理由

元々、良い印象であるため。

3.-①半導体人材の育成・確保 【出前授業】

- 2022年度から高専機構様と連携し、ボリュームゾーン人材育成を目的にしたカリキュラムを策定し、SIIQ事務局による出前授業を開始。
- 当該カリキュラムをベースに高専のみならず、大学、高校にも展開中。
- デジタル社会における半導体の実用例や、九州半導体産業の集積などを解説し、その魅力を発信する。

実施スケジュール

【2024年度からの継続】			
NO	学 校 名	実施時期	内 容
1	大分大学	2025年11月11日	90分×1コマ
2	佐賀大学	2025年9月4日	90分×2コマ（父兄含めて一般参加もあり）
3	福岡大学	2025年11月14日	90分×1コマ
4	九州産業大学	2025年9月26日	90分×1コマ
5	佐世保高専	2025年4月22日、10月7日、11月18日 12月2日、2026年1月13日	90分×5コマ（前半：1コマ+後半：4コマ）
6	鹿児島高専	2025年11月5日+2026年1月14日	11月は4年生、1月は3年生に各90分×1コマ
7	熊本工業高校	2025年10月21日+2026年1月27日	50分×4コマ（前半：2コマ+後半：2コマ）
8	長崎工業高校	2025年5月16日	50分×2コマ
【2025年度からの新規追加】			
9	立命館アジア太平洋大学（APU）	2025年7月12日	90分×2コマ
10	大村工業高校	2025年5月23日	50分×2コマ
11	都城工業高校	2025年9月2日、16日、30日	50分×2コマ×3日
12	香椎工業高校	2025年11月12日	50分×1コマ（生徒、父兄で840名参加予定）
13	福岡工業大学	2025年12月3日	90分×1コマ（学生+教員）



4.-①②横断的・ダイバーシティ推進 【海外人材サブWG】【自治体サブWG】

2025年度 【海外人材サブWG】

■ 第1回サブWG会合開催結果（9月2日（火）ハイブリッド形式）

【テーマ】

九州における海外人材活用に向けた取組や課題の共有、今後の論点整理

【議論のまとめ】

- ・海外人材は、製造オペレーター、エンジニアを中心に採用されており、言語教育の強化、定着率の向上が共通課題となっている。
- ・教育機関では、台湾、ベトナム、タイ等のアジア圏を中心に、現地大学等と連携した人材交流・人材育成が行われている。
- ・今後さらに、課題の洗い出し・深掘りを進め整理するとともに、海外人材活用の意義や受入体制等について議論していく。

2025年度 【自治体サブWG】

● 第1回サブWG会合（5月21日（水）ハイブリッド形式）

【テーマ】

各自治体での取組状況・課題の共有、連携可能性の検討

● 人材育成に関する意見交換会（9月3日（水）ハイブリッド形式）

【テーマ】

産学ミートアップ事業・教員向け研修会の課題や今後の展開案（2事業の同時開催や自治体との連携開催）の共有

【議論のまとめ】

- ・各自治体による周知・広報での連携は可能。
- ・類似の既存事業がある自治体については、既存事業との棲み分けをした上で、連携可能性を個別に検討していく。

その他人材育成に関する情報提供

文部科学省 令和7年度「半導体人材育成拠点形成事業」

次世代の高度人材や基盤人材の持続的な育成に向け、各大学等の特色や地域性等を踏まえつつ、ネットワークを生かした教育プログラムの展開など、産学協働の実践的な教育体制を構築するもの。（採択結果）全国で7拠点が採択。（※九州の採択拠点については、一つの拠点となることを要件に採択。）

	拠点校名（採択機関）	連携校名	事業名称
1	北海道大学	室蘭工業大学、北見工業大学、公立千歳科学技術大学、北海道科学大学、函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、九州工業大学	半導体をつくる「つかう」「つなぐ」人材の育成に向けた北海道半導体人材育成プログラム
2	東北大学	弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、福島大学	東北半導体タレントハブの構築
3	東京科学大学	横浜国立大学、東京理科大学	未来共創半導体イノベーションアリーナ（SiCA）～（半導体設計オーケストレーター）を輩出する人材育成拠点～
4	名古屋大学	豊橋技術科学大学、三重大学	東海地域半導体実践人材育成拠点
5	大阪大学	京都大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、大阪公立大学	関西圏半導体人材育成共創拠点の構築
6	広島大学	岡山大学、山口大学、愛媛大学	中国半導体人材育成加速プログラム -中国 VISTA (Value-Integrated Semiconductor Talent Acceleration) -
7	九州工業大学（※）	長崎大学、鹿児島大学、佐賀大学、宮崎大学、琉球大学、大分大学、熊本大学	九州沖縄発：半導体産業けん引人材創出エコシステム拠点形成
8	熊本大学、九州大学（※）	-	半導体製造と設計の知が交差する「新生シリコンアイランド九州」人材育成拠点の形成

「サーキットデザイン教育センター」の開設

- 有明高専に「サーキットデザイン教育センター（以下、CDEC）」が設置（令和7年4月）。
- CDECは、将来の日本の半導体産業を牽引する人材を全国の高専から継続的に育成・輩出するため、サーキットデザイン教育の推進、その応用を通じたアントレプレナーシップ教育の支援を軸に活動。
- 開所式及び開所記念シンポジウムが開催（令和7年9月29日）され、九州各所の企業及び教育機関、行政機関等から約300名の関係者が参加。

第2回 九州半導体産業展の開催

産学官金によるブース出展やセミナー講演を通じて、半導体に関する人材交流が図られた。

【日時】令和7年10月8日（水）、9日（木）

【場所】マリンメッセ福岡 A・B館

【出展社数】約400者

【来場者数】13,640名

第2回九州半導体産業展

九州初! 半導体産業に特化した専門展

第2回九州半導体産業展

会期:2025年10月8日(水)・9日(木) 10:00~17:00
会場:マリンメッセ福岡 A・B館
主催:[九州]半導体産業展 実行委員会
同時開催:第1回[九州]次世代物流展

第2回九州半導体産業展

第2回九州半導体産業展